

広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり10.31人の報告があり、前週と比べてやや減少しましたが、多い状況が続いています。(次ページ参照)

2 マイコプラズマ肺炎

定点当たり3.14人の報告があり、増加が続いています。
マイコプラズマ肺炎は、長引く咳が特徴で、感染経路は飛沫感染と接触感染です。手洗いの励行、咳エチケットなど、感染予防対策を心がけましょう。

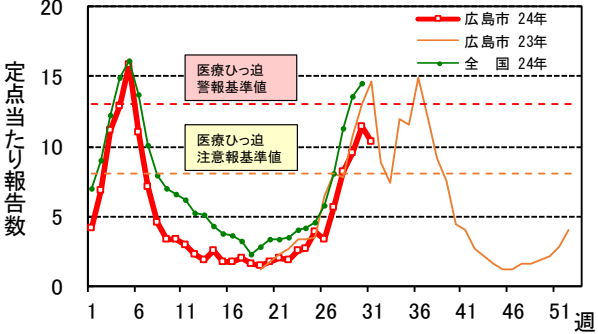
3 手足口病

定点当たり17.55人の報告があり、前週と比べて減少しましたが、多い状況が続いています。手洗いの励行、オムツの適切な処理、タオルの共用を避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。

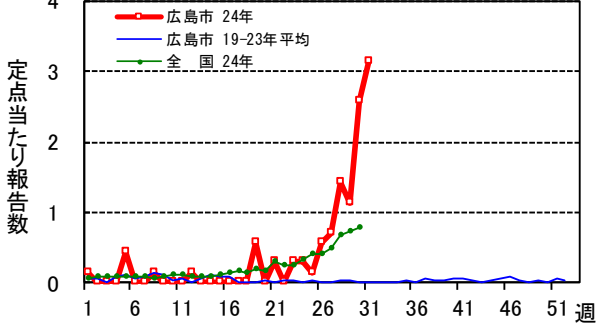
4 腸管出血性大腸菌感染症

今年の累計は14件となりました。感染予防のため、加熱が必要な食品は十分に加熱し、生野菜は十分に洗いましょう。また、調理の前、食事の前、トイレの後などは、せっけんと流水で手を洗いましょう。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行状況



マイコプラズマ肺炎の流行状況



定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	6	0.17	0.09		小児科	ヘルパンギーナ	15	0.68	0.95	
	新型コロナ(COVID-19)	361	10.31				流行性下腺炎	-	-	0.04	
小児科	RSウイルス感染症	27	1.23	3.02		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	9	0.41	0.32			流行性角結膜炎	3	0.38	0.38	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	39	1.77	1.03		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	43	1.95	2.73			無菌性髄膜炎	1	0.14	-	
	水痘	6	0.27	0.09			マイコプラズマ肺炎	22	3.14	-	
	手足口病	386	17.55	2.13			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	1	0.05	0.11			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	突発性発しん	5	0.23	0.28							

急増減 ↑ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↘ 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇐ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	14	10歳未満・O26、10歳代・O157・市外
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	17	80歳代
5	後天性免疫不全症候群	1	5	20歳代・感染者
5	水痘(入院例に限る)	1	1	30歳代
5	梅毒	1	93	60歳代

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフル エンザ	(C O V I D - 19) 新 型 コ ロ ナ	R S ウ ィ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	クラ ミ ジ ア 肺 炎	(感 染 性 胃 腸 炎 ロ タ ウ ィ ル ス)
報告 数	第27週	5	195	18	18	49	100	4	568	1	6	37	-	-	5	-	-	5	-	1
	第28週	5	286	19	5	53	72	1	584	1	9	21	1	-	3	-	-	10	-	-
	第29週	8	336	30	7	37	80	1	562	-	5	20	-	-	2	-	-	8	-	-
	第30週	7	401	41	7	39	40	4	556	-	6	22	1	-	2	-	-	18	-	1
	第31週	6	361	27	9	39	43	6	386	1	5	15	-	-	3	-	1	22	-	-
定 点 当 た り	第27週	0.14	5.57	0.82	0.82	2.23	4.55	0.18	25.82	0.05	0.27	1.68	-	-	0.63	-	-	0.71	-	0.14
	第28週	0.14	8.17	0.86	0.23	2.41	3.27	0.05	26.55	0.05	0.41	0.95	0.05	-	0.38	-	-	1.43	-	-
	第29週	0.23	9.60	1.36	0.32	1.68	3.64	0.05	25.55	-	0.23	0.91	-	-	0.25	-	-	1.14	-	-
	第30週	0.20	11.46	1.86	0.32	1.77	1.82	0.18	25.27	-	0.27	1.00	0.05	-	0.25	-	-	2.57	-	0.14
	第31週	0.17	10.31	1.23	0.41	1.77	1.95	0.27	17.55	0.05	0.23	0.68	-	-	0.38	-	0.14	3.14	-	-
全 国	第29週	0.37	13.63	1.68	0.50	2.39	2.89	0.16	11.73	0.12	0.26	1.95	0.04	0.02	0.46	0.02	0.03	0.72	-	0.01
	第30週	0.39	14.58	1.75	0.48	2.26	2.85	0.18	11.93	0.11	0.26	2.11	0.05	0.03	0.50	0.02	0.03	0.78	-	-

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	発熱(38.7℃) 嘔吐 下痢 腹痛	5	2024/06/25	糞便	アストロウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.5℃) 細気管支炎 下痢 鼻炎	0	2024/06/17	鼻汁(拭い液)	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(40.2℃) 気管支炎	1	2024/06/26	鼻汁(拭い液)	ライノウイルス 肺炎マイコプラズマ
その他の消化器疾患	発熱(38.6℃) 咽頭炎 肝機能障害 鼻炎	0	2024/06/19	咽頭拭い液	サイトメガロウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】 新型コロナウイルス感染症の感染予防のために - 夏の感染対策について -

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が全国的に増加しています。広島市でも多い状況が続いており、入院者数も増加しています。

現時点で医療がひっ迫している状況ではないものの、このままの増加のスピードが継続した場合、更に医療への負荷が増大するため、現在、広島県は県内全域に「新型コロナ医療ひっ迫警報」を発令しています。

お盆や夏季休暇には、帰省などで高齢の方と会ったり、大人数で集まる機会が増えることが予想されます。感染を拡大させないために、また、お盆や夏季休暇を楽しく過ごすためにも、一人ひとりが今できる対策を心がけましょう。

基本的な感染予防対策など

- ・手洗い、換気を心がけましょう。
- ・発熱等の体調不良時は外出を控えましょう。
- ・高齢者や基礎疾患のある方が感染すれば重症化リスクも高まります。通院や高齢者施設を訪問する時などは、感染予防として「マスクの着用」が効果的です。
- ・帰省等で高齢の方と会う場合や大人数で集まる場合は、感染予防を心がけ体調を整えるようにしましょう。
- ・救急相談センター(＃7119(24時間365日))では、受診に関する相談を受け付けています。

詳しくは以下をご参照ください。

新型コロナウイルス感染症の感染予防のために(広島市)
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/264771.html>



新型コロナウイルス感染症について(厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp